

2024 年度事業報告

1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

1)事業の推進

資源環境の拠点として資源の有効活用に取り組み、地域にアピールをしました。

(金額はすべて消費税抜きです)

(1) 中田店

目標額 440 万円 実績 4,236,813 円 (前年 4,187,826 円)

達成率 96.3 % 提供者数 1,343 人 (前年 1,279 人)

- ① 近隣にできた「子どもと大人のまなびそらいろ」から置きチラシの要請があり、理事やスタッフで施設を訪問して説明を聞き、相互にチラシ設置の連携をしました。
- ② 商店街のスタンプラリーや野球観戦、プレミアム付商品券販売などのイベントに参加してネットワークを広げ、ショップのチラシを置いてもらうようになりました。
- ③ 猛暑の 8 月にほぼ毎日麦茶サービスをし、来客の皆さんに大変喜ばれました。
- ④ WE21 主催のショップスタッフ研修会に参加し、課題を共有しました。(1/9 2 人参加)
- ⑤ 中田小学校 2 年生の生活科「もっともっとまちたんけん」のテーマでの訪問があり、インタビューを受けました。(2/21 児童 5 人・保護者 1 人)
自分たちも地域の一員として自覚をもって生活していこうとする学習でした。時間が超過するほどみんな真剣に取り組み、私たちも学びの場となりました。
- ⑥ コロナ過で中断していた、エリア会議に参加し他ショップとの情報を共有しました。(2/26)
- ⑦ 手続きが遅れている他ショップに先駆け、2 月より paypay を導入しました。

(2) 領家店

目標額 430 万円 実績 3,980,450 円 (前年 3,955,143 円)

達成率 92.6% 提供者数 1,392 人 (前年 1,277 人)

- ① 10/10 にスタッフが急逝したため、ボランティアミーティングを重ねて開催し、ショップ事業の継続を決定しました。
- ② スタッフワークを細分化してボランティアで担いました。また、多くのイベントも企画してショップの動きをつくりました。
- ③ 10 月から毎週土曜日の営業を決め、「土曜衣類半額セール」としたところ、土曜日の売り上げが伸び、後半の事業に弾みがつきました。
- ④ 第一週をパンツ・スカート 200 円やサイコロゲームを取り入れて賑やかな雰囲気作りをし、来客の皆さんも喜び、また対話の機会にもなりました。
- ⑤ 毎月、中旬ごろに売り上げの点検をして様々なイベントを企画・実施しました。また、月末 3 日間の全品半額セールも好評で目標額に近づくよう努力しました。
- ⑥ 衣類の在庫が薄い時に、全ショップの物流情報に衣類提供を投げかけ、他ショップからたくさんの衣類の提供があり、他ショップとの連携を感じました。

(3) 萩丸店

目標 430 万円、 実績 4,224,510 円 (前年 4,304,230 円)

達成率 98.2% 提供者数 1,163 人 (前年 1,272 人)

- ① 1 か月売上目標 35 万円とし、毎月セールやフェアを企画・実施して来客の皆さんと楽しみました。また、毎月 15 日のお楽しみくじも好評でした。
- ② 物流拠点として、領家店や中田店に冬物衣類を循環することが出来ました。
着物のストックから WE フェスタや他店舗 (つづき、小田原) に回すことができ、喜ばれました。
- ③ 毎週土曜日の和物半額の日が周知され、着物やリメイク好きの方が来店されました。また、遠方からも来られました。
- ④ みつろうラップの制作を引き続き行い、藤沢のカフェに販売しました。
- ⑤ 地域の拠点として、農産物 (大豆) の販売、さつまいもを店頭で焼いて販売するなど集客に寄与しました。皆さんに好評で、売り上げの一部は寄付に繋げました。
- ⑥ 和室の利用として健康マージャンを開始し、使用料は募金に充てました。

(4) ボランティアミーティングの開催

① 中田店

3 回開催しました。(5/20 : 13 人、12/14 : 11 人、3/24 : 13 人)

月次報告、今後のショップのイベント内容の確認と意見交換をしました。

② 領家店

6 回開催しました。

(5/23 : 6 人、9/4 : 10 人、10/8 : 10 人、10/18 : 24 人、11/22 : 7 人、3/19 : 9 人)

スタッフの急逝によりボランティアで運営するため、財政の認識からルールの確認のために随時開催してショップ運営を潤滑に進めました。

③ 萩丸店

3 回行いました (6/21 : 7 人、11/16 : 5 人、12/13 : 12 人)

前年度の事業報告や支援報告、今年度のイベント内容を話し合いました。

12 月は大掃除後、支援先のカンボジア米の試食をしました。

【期間】 通年

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 事業総額 12,441,773 円 (目標額計 1300 万円 達成率 95.7%)

2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

- 1) 核廃絶運動を広めるために、(社団法人) かたわらに寄付をしました。

寄付金 : 10 万円

- 2) イスラエルのガザ攻撃に対して店内で寄付を募り、20年間現地で子どもたちの心のケアをしている NPO 法人地球のステージに支援をし、報告会を開催しました。

また、ガザ現地スタッフのモハマッド・マンスールさんのミサイルによる射殺はガザの現状を肌で感じることになり、メッセージを各店舗に展示しました。また地球のステージのオンライン報告会に参加しました（参加者 6 人）

募金：10 万円

- 3) 申請書に基づき検討し以下の事業を支援しました。

- ① 支援団体名：緑の芽有機農業学校

事業名：カンボジアで有機栽培を通してゆたかで幸福なコミュニティの構築

助成金：30 万円

- ② 支援団体名：NPO 法人シェア＝国際保険協会市民の会

事業名：東ティモール子どもの健康を守る学校での保健教育支援

助成金：20 万円

- ③ 支援先団体：NPO 法人共同の家プアン

事業名：「（仮）生きる力を得るために NO. 2」政策提言集作成費用

助成金：68,000 円

【期間】 通年

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 カンボジア、パレスチナ、日本などの社会的に立場の弱い市民たち

【事業高】 768,000 円

3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

1) キャンペーン事業

広報に力を入れて広く市民の語り掛け、以下のキャンペーンに取り組みました。

- ① 貧困なくそうキャンペーン（世界の貧困について学ぶ）

女性の貧困をテーマにパネルを展示し、日本女性の貧困について理解を深めました。売り上げや募金は、今年度も DV 被害者の自立を支援している NPO 法人共同の家プアンに寄付をしました。

【期間】 10 月 1 日～30 日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 206,835 円（募金：46,402 円、 寄付金：160,433 円）

- ② 愛のチョコ募金キャンペーン（放射能などを含めた核と子どもの影響について知る）

ショップ内で広報しながら販売しました。

【期間】 12 月 1 日～2 月 10 日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】募金：55,000 円

- ③ NPO 法人日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-NET)の活動を支援するために、ドリップコーヒー「COFFE OF PEACE」の販売に取り組みました。

【期間】1月1日～3月31日

【場所】泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】39,600 円

- ④ 災害復興支援キャンペーン（震災・津波・原発被害を知る

今年度から東日本大震災復興だけでなく、自然災害の復興支援にも取り組むため、キャンペーンの名称を変更しました。今年度はショップの売り上げと募金は、東日本復興支援は「NPO 法人 3.11 甲状腺がん子ども基金」、能登半島大地震復興支援は「ADRA ジャパン」に支援しました。また、常時東北地方の生産者を支援する物産販売にも取り組みました。評判も良く定着してきました。

【期間】3月1日～3月31日

【場所】泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】262,582 円（募金：94,325 円、寄付金：168,257 円）

- ⑤ 盲導犬育成に賛同し、募金に取組みました。

【期間】9月1日～3月31日

【場所】泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】31,948 円

- ⑥ NPO 法人 WE21 ジャパンの物流拠点推進事業に寄付をしました。

【期間】3月1日

【場所】泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】15,000 円

＜参考＞2024 年度の支援実績

支 援 団 体	支 援 金 額	助 成 対 象 の 事 業 等	点検評価
(一般社団法人) かたわら	100,000 円	平和な社会を作るために核廃絶に向けた活動	政策提言活動も含めて、多様な活動を実践している
特定非営利活動法人 地球のステージ	100,000 円	イスラエルのガザ攻撃により緊急支援	現地のスタッフを中心にガザの人たちに食料を提供している
緑の芽有機農業学校	300,000 円	有機栽培を通して「ゆたか」で幸福なコミュニティの構築	カンボジアで若者の人材育成により自立可能な地域づくりを実践している
特定非営利活動法人 日本イラク医療支援ネットワーク (JIM-NET)	94,600 円	チョコ募金やコーヒー販売を通してイラク・シリア・福島の子どもたちへの支援	子供たちの医療ケアだけでなく家族のサポートも実施している
特定非営利活動法人 3.11 甲状腺がん子ども基金	100,000 円	原発事故で被害を受けた甲状腺がんの治療費支援	治療費支援だけでなく家族のサポートを実践している
特定非営利活動法人 ADRA ジャパン	162,582 円	能登半島災害復興支援	日常生活を支えるための支援をしている
NPO 法人シェア＝国際保険協会 市民の会	200,000 円	東ティモール子どもの健康を守る学校での保健教育支援	40 年間、保健事業に取り組んでいる NGO のスキルと経験を東ティモールで実施している
特定非営利活動法人 共同の家プラン	206,835 円	DV 被害者の自立支援	暴力を受けた女性たちに対して一人一人の自立に応じたサポートを実践している
特定非営利活動法人 共同の家プラン	68,000 円	「(仮) 生きる力を得るために N0.2」政策提言集作成費用	20 年の実績から生きにくい若年女性の課題を明かにして政策提言をする
盲導犬協会	31,948 円	盲導犬育成支援	盲導犬の育成に取り組んでいる。
特定非営利活動法人 WE21 ジャパン	15,000 円	物流機能推進のための支援	25 年間地域の物流を支えている
計	1,378,965 円		

2) 共育事業

(1) WE 講座を開催しました

① 6/8 カンボジア支援事業報告 米倉雪子さん

長年支援をしているカンボジアの現状について報告がありました。

継続支援の必要性を感じました。

② 6/22 ガザ緊急報告 桑山紀彦さん

メディアでは取り上げられない現地の情報は、大変衝撃的でした。今後も情報を発信するために、連携を深めていきたいと思います。一般の参加もありました (24 人)

③ 12/16 NPO 法人日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-NET)活動報告

長谷部貴俊さん愛のチョコの理解を深めるために、理事を対象に報告会を開催しました。

(2) 平和のアクションを開催しました

① 8 月に平和な社会を願って折鶴キャンペーンを実施しました。折鶴は地域の人たちが積極的に参加して 9,640 羽が集まり、広島平和記念公園に贈呈しました。

② 9 月に昨年同様に日常の 3 店舗で写真展を開催し、折鶴を飾ながら写真一枚一枚から平和を訴えました。

③ 折鶴の一部は国連の未来サミットに出席する高橋悠太さんがかつて米国の核実験場となりいまだ核被害のあるカザフスタンやキルギス共和国の反核運動を推進している若者団体に寄贈し、大変喜ばれました。

(3) ちくちくボランティアに参加しました

NPO 法人 ADRA ジャパンのちくちくボランティアに賛同し、雑巾 496 枚を送りました。自然災害への関心の高さも分かりました。

【期間】4 月 1 日～3 月 31 日

【場所】泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】17,443 円

3) フェアトレード事業

① ジンジャーミーティングに参加して情報を共有し、ジンジャーパウダーの販売に力を注ぎました。

② 常時東北の物産などを販売して、生産者の支援に繋がりました。

【期間】4 月 1 日～3 月 31 日

【場所】泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】316,647 円 (ジンジャーパウダー37,703 円、東日本物産 278,944 円)

4) 資源循環事業

- ① 日常的に廃油、羽毛布団の回収に取り組みました。

廃油の回収量：920 kg (CO₂削減量 2,392 kg)

- ② 売れ残った雑貨が廃棄（焼却）されず有効に活用できる「侍プロジェクト」に参加しました。

5) ネットワークを広げて、問題解決を図りました。

- ① 国内の貧困を視野に入れてフードドライブに取り組み、地域のネットワークを広げました。
日常的に収集箱を設置しているため、地域の人たちの関心は高く、2 か所に寄付をしています。
食料：382 件 雑貨：281 件

- ② 12/1 生活クラブ泉コモンズと共催で（社団）かたわらの高橋悠太さんによる「未来のための平和のつくり方」講演会を開催しました。

4. 事業の広報普及を図る事業

1) 広報紙やショップチラシを充実させ、発行しました。

- ・広報担当者を中心に、イベントやセールちらしなどをタイムリーに作成することができ、売り上げに貢献しました。広報誌は2 回発行しました。
- ・地域へのちらしまきは夏と冬のセールの時に、各 6000 枚をポスティングしました。
- ・日常の活動のアピールなどは、随時店内に広報して地域の人たちに発信しました。

2) HP を充実させました。

3 ショップの情報と非営利の活動について、常に HP に掲載して情報を発信しました。
また、ショップ情報はホームページやインスタグラムで発信しました。

【期間】4 月 1 日～3 月 31 日

【場所】泉区内

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】163,590 円